

Weekly Bulletin 2013-2014



RI会長
ロンD.パートン



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

静岡東ロータリークラブ

会長/高柳正雄 幹事/高田雅司

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
高柳正雄

第 2668 回例会

平成 26 年 5 月 22 日 天候 晴

《司 会》 高田雅司 君

《合 唱》 「それでこそロータリー」

《BGM》 「我ら日本ロータリアンの歌」

《ゲスト》 NPO 法人いのちの電話
理事長 中井弘和氏

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日
なし

結婚記念日
5月22日 川口尚宜君

《会長挨拶要旨》



宋文洲さんのコラムで面白いことを知りました。皆さんは「電車、バス、レール」の中から関連する二つの言葉を選べと言われたら、どの二つを選ぶでしょうか。バージニア大学が行った実

験で面白い結果が出ました。

これは中国各地の漢民族学生1,162人を調査した結果なのですが、米産地の学生と麦産地の学生とでは思考特徴が大きく異なることが分かったということです。具体的には米産地の学生が関係性を重視して電車とレールを選ぶのに対し、麦産地の学生は分類に基づき電車とバスを選んだということです。

興味深いのは他の実験でも似た結果が出たことです。すなわち「自分と友人を丸で表す」実験では、米産地の学生が自分を他人より小さな丸で描くのに対し、麦産地の学生は友人より大きな丸で自分を描くことが分かりました。

バージニア大学はこの研究結果から「何を植えるかで人の思考特徴が変わる」という結論を打ち出しています。理由は米と麦の生産方法が大きく異なるからだという

のです。米の生産はインフラ整備から始まり多くの人の共同作業が必要であるのに対し、麦は個人の単独作業でも生産可能です。長い生産活動を通じて米産地の人々は協調性とチームワークを重視する文化心理が形成され、麦産地の人々は独立性と個人主義的な文化心理が形成される。そのためアジアでも麦産地の人々の心理特徴は西洋人のそれに近く、このため、西洋VS東洋という単純な分類ではなく、人々が長い歴史における生産の在り方に着目すべきと結論付けています。

同じ中国でも山東省、北京市、黒竜江省などの北中国と湖南省、広東省、雲南省などの南中国では性格が違ってきます。日本が政治的に相手にしている中国は、北中国の麦を生産する人たちが主流と言っていいでしょう。そしてその違いは、日本でよく言う農耕民族と狩猟民族という単純な括り以上の複雑さを持っているとも言えます。

そう考えると、日本と中国、あるいはベトナムと中国の間に生じている昨今の不幸な衝突も理解しやすくなります。

長い歴史を持つアジアの諸国家が、思考特徴の違いを乗り越えて、早く信頼と絆で結ばれる日が来ることを切に願います。

《来賓卓話》

「いのちの電話」

NPO 法人いのちの電話
理事長 中井弘和氏



本日はお話する機会をいただき、感謝申し上げます。経営とは人を幸せにする道であると教わったことがあります。私は農学が専門ですが、それは何の為誰の為にあるのかをこの頃考えるようになりました。農業に従事する人のためであることは間違いありませんが、その仕事がうまくいく為には、経営が必要だと思っています。経営とはお金を儲ける道だと考えがちですが、実は経営は非常に

深くて広く、人を幸せに導くことが本来の姿だと思います。

本日の私の話は私が関わっている「いのちの電話」についてです。「苦しい、悲しい、死にたい」という思いを聞いて、その心に寄り添い、再び生きる力を取り戻すための働きをしています。なぜ農学者の私が人の命なのか？自分自身でも納得いかない点がありますが繋がる点は、人も稲も生きているということです。加えて自分自身が75年間生きてきた経験が生かせると考え、この仕事を引き受けました。

「いのちの電話」の始まりは1953年、イギリスから始まりました。イギリスは気候に恵まれず暗い国であることから、当時自殺する方が多くいました。チャドバラという牧師が、相談を受けていた少女が自殺したことを大変悲しんで、どうしたらイギリスから自殺を少なくすることができるかを考え「いのちの電話」を始めました。日本では1971年に東京で開局しました。この開局にあたり現皇后陛下のご尽力があったとのこと。静岡では1999年に開局し、今年で15周年を迎えました。静岡では現在85名の相談員が活動しています。この相談員は守秘義務で名前は公表されません。ですから評価もされず、むしろ傷つくことが多い究極のボランティアと言えます。現在は午後3時から9時まで受け付けていますが、本来は24時間必要だと思います。残念ながら相談員の人数の関係で、毎月1回だけ実施するのが精いっぱいです。

「いのちの電話」の特徴ですが、まずは守秘義務を守らなくてははいけません。そして独りで聞くという孤独にも耐えなくてははいけません。また一年半に渡る研修を受けるのですが、その費用は交通費を含め全て自己負担です。適性としては自己主張の強い人よりもじっくり相手の話を聞く方が求められます。ネガティブな言葉を絶えず受け続けるので、知らぬ間に傷ついてしまう場合もあるので「いのちの電話」に関わる人たちが、志を持続させることができるかどうか、私たちの大きな課題です。今日本では毎年3万人の自殺者がいますが、その10倍の30万人の自殺未遂者がいて、更にその10倍の300万を超えるうつ病患者がいます。自殺の分布は、男女比率で3:1。理由は、65%が心の問題を含めた「健康」、34%が「生活苦」です。相談した相手は家族より友人が多いようです。職業別では、失業者が18.4%となっています。ここから見えてくる主要因は「孤独」「貧困」「健康」で、働き盛りで自殺する人が多いという実態が見えてきます。20代から30代後半の死亡理由の第一位が自殺で、実人数では40代が多くなっています。自殺者の推移ですが、ちょうど静岡で開局したあたりから日本の自殺者数は急激に増え、一挙に3万人に達してしまいました。東日本大震災からなぜか少しずつ減り始めています。きっと命の大切さを知らされるきっかけになったのだと思います。また行政や企業の取り組みも盛んになってきたことも減少の要因かと思われ。但し状況は決して楽観できる状況ではありません。今後ますます私たちの働きが必要となってくることを覚悟している次第です。自殺率において、ここ数年で一番多い国が韓国です。逆に最も低いのはイギリス、イタリアです。イ

タリアは経済破綻国であるにも関わらず自殺率が低いのは、恐らく困った人を受け入れるネットワークがあるからだと思います。いわゆる“村”と言われる存在があり、食いはぐれたら村に帰ればいいという安心感があるのではないのでしょうか。昔は日本にも存在した“村”がどんどん無くなってきています。これは問題視しなくてははいけないことだと思います。

私たちの活動の中心は相談員ですが、少しでも多くの方に講演会に参加いただき、私たちの活動への理解をお願いしたい。今講演会活動を広げる努力をしているところです。運営に関わるボランティア、資金を提供するボランティアなども可能ですので、宜しくお願いします。相談員の数ですが、だんだん減少しており原因は疲れです。これからの「いのちの電話」の課題は相談員の増加と、相談員のケア、財政、社会的知名度などです。講演会を開催することで、知名度を上げたいと考えています。11月29日に、私の講演「稲に聞け、人に聞け」を開催します。他にも駅前で自殺防止のキャンペーンを展開したり、相談員の方に稲田に来ていただき、心のケアなども行っていきます。今後とも静岡いのちの電話をご支援いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

《第296回くらく会報告》

平成26年5月20日(火) 於 静岡倶楽部

出席6名 投句1名

兼題「更衣」「麦の秋」他当季雑詠

第1席 麦秋や伊万里に響く水の音 竹内弘毅
平穏に生きて今年も更衣 今井富子
更衣羅のまとい蝶のごと 新聞和美
更衣また別人の君に会ひ 小山宏之
更衣弾ける若さ目を細め 小山宏之

《スマイル報告》

伊藤洋一郎君 長女の誕生日なので、スマイルします。2人の娘は、それぞれに頑張っていて親としては喜びです。

多賀洋君 結婚記念日のお花、ありがとうございます。来年は銀婚式。それまで持つか!?!いや、絶対持たせます!! それも一生!ご安心を。

望月康弘君 先週15日に葵祭り行列を見に行きました。きらびやかな塗の轎の牛車が、ゆるやかに進む様子は優雅ですが、車の乗り心地については現代人にはちょっと無理のようです。

松下陸朗君 特に喜ぶような事はありませんが、スマイルの集まり具合を訴える川口会員に協力してささやかなスマイルをします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
5/22	52(50)	37	13	-	-	-
5/15	52(50)	36	14	-	-	-
5/8	52(51)	44	7	2	5	90.2%